

授業科目 認知症の理解 I

【担当教員名】 大槻 美智子		対象学年	3	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎		○	○	○	○
【概要・一般目標：G10】 ・認知症ケアの変遷と現状を理解し、認知症に関する基礎的な知識と対応方法の基本を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1) 認知症ケアの歴史と現状を知る。 2) 認知症支援策の現状と政策的方針を理解できる。 3) 認知症の原因疾患と主な症状および脳機能との関係を理解できる。 4) 認知症の鑑別、検査、診断、治療方法について知る。 5) 認知症の行動・心理症状を理解する。 6) 認知症介護の基本ケアと生活援助について理解できる。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	認知症ケアの歴史と現状	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
2	認知症高齢者への対策と制度	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
3	諸外国の認知症ケア	1.2	講義、担当：大槻 美智子		
4	老化と脳機能	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
5	認知症をきたす疾患 1	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
6	認知症をきたす疾患 2	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
7	認知症をきたす疾患 3	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
8	認知症の検査と診断	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
9	認知症の治療と予防	3.4	講義、担当：大槻 美智子		
10	認知症の人の行動・心理症状 1	3.4.5.6	講義、担当：大槻 美智子		
11	認知症の人の行動・心理症状 2	3.4.5.6	講義、担当：大槻 美智子		
12	認知症の人の行動・心理症状（BPSD）への対応	3.4.5.6	講義、担当：大槻 美智子		
13	認知症介護の原則と基本ケア	5.6	講義・演習、担当：大槻 美智子		
14	認知症ケア：生活援助を考える	5.6	講義・演習、担当：大槻 美智子		
15	まとめ		講義、担当：大槻 美智子		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		介護福祉士養成テキスト			
その他の資料					
【評価方法】 出席状況・レポート等 20%程度および試験 80%程度から総合的に判断する。		【履修上の留意点】 資料は配布する、できるだけ事前・事後の自己学習に心がけて欲しい。演習では実習経験を活かし実践的な支援の在り方を積極的に討論してください。			